

知事は李帝選軍省長と新たな協定を結んだ訪問を振り返り「国レベルでは課題があるが県と省、大連市は経済、文化、観光の交流、環境問題の協力などを充実強化しウイーンとの関係でいける可能性が十分ある」と述べた。

北京の中国共産党中央対外連絡部や中国民用航空局、富山・大連便を運航する中国南方航空大連分公司で増便を要望したことについて「前向きに、大変温かく受け止めていただいた」とし、課題である搭乗率向上に前向きに取り組み考えを強調。県と選軍省、中国との関係を一歩進めていきたい」と述べた。富山湾の

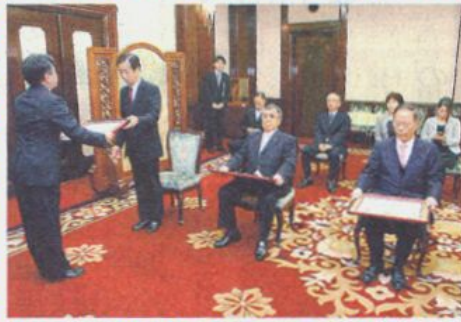
況を説明。企画管理部は、災害時に業務を適切に行うため、13、14年度に「業務継続計画」の策定作業を進めており、危機管理体制の強化を図ることを説明した。

企業会計決算特別委員会（高田重信委員長）は27日と28日、29日に開催する。

■島津の経営革新計画承認  
県は28日、飲食業の島津、小矢部市中央町一から申請があった経営革新計画を承認した。後、政府系金融機関や県の低利融資制度などの支援措置を受けられる。

■献眼協力で感謝状 献眼に協力した故人への厚生労働大臣感謝状の伝達式が23日、県庁で行われ、遺族に感謝状が贈られた。写真。昨年9月からことし7月までに献眼した県内の故人19人が対象。山崎厚生部長と大黒幸雄県アイバンク理事長が「光を失われた方に喜びの光を与えていただいた」と感謝した。

▽献眼協力者（匿名希望者を除く）  
山口好夫、井村東司三、清河美智子、萩原則義、伊藤利治、田中秀三、西田修二、西能孜、境正信、藤坂紀、老田正太郎、堀井弘昭、大澤すで、関昭一、三浦光



島津の経営革新計画承認式。島津重信（左）が島津重信（右）から感謝状を受け取る。写真：島津重信

# 感謝状

西能 孜 殿

あなたはこのたび、公益財団法人  
富山県アイバンクに  
角膜の提供をされ眼の不自由な  
方々へ光をもたらされました  
その崇高なお心は社会の模範と  
なるものであります  
よってここに深く感謝の意を  
表します

平成二十六年七月五日

厚生労働大臣

田村憲久

